

事 務 連 絡
平成 30 年 11 月 29 日

富山県医師会長 }
各郡市医師会長 } 殿

富山県厚生部健康課長

麻しん、または風しんの検査対応
及びつつが虫病の検体採取について

日頃から、本県の感染症対策の推進に種々の御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

標記のことについて、富山県衛生研究所より別添写しのとおり事務連絡がありましたので、その内容をご了知いただくとともに、貴会員への周知にご配慮賜りますようお願いいたします。

(事務担当：感染症・疾病対策班)





事務連絡
平成30年11月28日

健康課長 殿
各厚生センター所長・支所長 殿
富山市保健所長 殿

富山県衛生研究所長

麻しん、または風しんの検査対応について

平成30年7月以降、風しんの全国的な流行により、本県においても風しんの感染拡大に対し注意喚起をしているところです。麻しん、および風しん疑い症例の発生時には、特定感染症予防指針により全例の検査対応が求められています。このたび、流行の拡大に伴い、検査依頼数も増加傾向にありますので、あらためて衛生研究所における検査対応について、お知らせいたします。迅速かつ確実な結果判定のため、ご協力をお願いいたします。

疾患名	検体の種類	検体の量等*	検査法	検査開始から結果判明までの時間
麻しん、 または 風しん	・咽頭ぬぐい液 ・全血 ・尿	・咽頭ぬぐい液：生理食塩水（またはピジョン（インフルエンザウイルス用）） 2ml**にスワブを浸す。 ・全血：2ml～5ml （EDTA入り採血管） ・尿：3ml	PCR	約5時間

*検体は原則冷蔵で保管、輸送します。

**咽頭拭い液の輸送用培地に、ウイルス検査用培地（市販）を用いることは可能ですが、細菌検査用培地（市販）は不可です。培地の量は、多いとウイルスの濃度が薄まり、少ないとスワブが乾きウイルス量が減少しますので注意が必要です。

（ 事務担当 ウイルス部
TEL 0766-56-8143
FAX 0766-56-7326 ）



事 務 連 絡
平成 30 年 11 月 14 日

健康課長 殿
各厚生センター所長・支所長 殿
富山市保健所長 殿

富山県衛生研究所長

つつが虫病の検体採取について

つつが虫病疑いの患者さんが来院されました場合、下記の検体を採取していただけますと、迅速かつ確実な結果判定に役立ちます。

急性期 EDTA 加血液

発症後数日（ミノマイシン投与前）
病原体の遺伝子検出に用います。
必要に応じ、抗体検査に用います。
IgM 抗体の有意な上昇がみられれば確定可能です。

刺し口の痂皮

病原体の遺伝子検出に用います。
EDTA 血よりも長期にわたり遺伝子検出が可能です。

必要に応じて採取

回復期血清

発症後 2～3 週間程度（急性期採血から 2 週間以上経過）
抗体検査に用います。
急性期血清と比較して、抗体の有意な上昇がみられれば確定可能です。
基本的には不要です。
遺伝子検出ができなかったときなどに採取をお願いすることがあります。

お忙しいところ申し訳ありませんが、できる範囲でご協力の程よろしく願
いいたします。

事務担当 ウイルス部
TEL 0766-56-8143
FAX 0766-56-7326